

令和元年度 社会福祉法人酒々井町社会福祉協議会事業報告

地域住民の様々な生活課題等、地域の特性に応じた福祉活動を推進するため、令和元年度事業計画に基づき地域福祉の推進を図るとともに、酒々井町役場、ボランティア等各種関係団体との連携をさらに深め、住民サービスの向上に努めた。

また、行政の地域福祉計画と一体となった第2期地域福祉活動計画も2年目を迎え、更にステップアップできるよう地域福祉推進委員会を中心として、計画推進の検討を行ったほか、健康や福祉に対する意識を高めるきっかけづくりと、子供から高齢者までの多世代交流を目的に「しすい健康ふくしフェスティバル」を開催した。

1. 会の運営

(1) 理事会・評議員会の開催

本会の事業、組織、財政等の健全かつ適正な運営を図るための審議等を行った。

① 理事会

回数	開催日時	場 所	出席者	審 議 事 項
第1回	5月28日(火) 午前10時～	役場西庁舎 会議室	理事 11名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告の承認について 平成30年度資金収支決算の承認について 理事及び監事候補者の推薦について 定時評議員会の開催について
第2回	6月11日(火) 午前11時～	役場西庁舎 会議室	理事 9名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> 会長及び副会長の選定について 相談役の選任について
第3回	10月11日(金) 午前10時～	役場西庁舎 会議室	理事 8名	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度資金収支補正予算(案)の同意について 評議員会の開催について
第4回	12月20日(金) 午前10時～	役場分庁舎 多目的室	理事 10名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 定款の一部変更について 給与規定の一部改正について 令和元年度資金収支補正予算(案)の同意について 評議員会の開催について
第5回	3月19日(木) 午前9時30分～	役場分庁舎 多目的室	理事 10名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> 事務局長等の就業に関する規程の制定について 嘱託職員等就業規則の制定について 大室台小学校児童クラブ運営要綱の制定について 令和元年度資金収支補正予算(案)の同意について 令和2年度事業計画(案)の同意について 令和2年度資金収支当初予算(案)の同意について 評議員会の開催について 会長の選定について

② 評議員会

回数	開催日時	場 所	出席者	審 議 事 項
第1回	6月11日(火) 午前9時30分～	役場西庁舎 会議室	評議員 11名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告の承認について 平成30年度資金収支決算の承認について 理事及び監事の選任について
第2回	10月25日(金) 午前10時～	中央公民館 研修室	評議員 10名	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度資金収支補正予算(案)の承認について
第3回	1月10日(金) 午前10時～	中央公民館 研修室	評議員 12名	<ul style="list-style-type: none"> 定款の一部変更について 令和元年度資金収支補正予算(案)の承認について
第4回	3月25日(水) 午後2時～	中央公民館 研修室	評議員 9名	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度資金収支補正予算(案)の承認について 令和2年度事業計画(案)の承認について 令和2年度資金収支当初予算(案)の承認について

(2) 監 査

監 査 名	開催日時	出席者	監 査 事 項
監事監査	5月15日(水)	監 事 2名 会 長 副会長 2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業執行状況について 平成30年度経理状況について 財産管理について
内部会計監査	4月18日(木) 7月25日(木) 10月23日(水) 1月28日(火) 3月24日(火)	監査担当 理 事	<ul style="list-style-type: none"> 経理規程等に基づいて、適正妥当な会計処理がなされているかどうかを監査した

(3) 会長・副会長会議の開催

- ・翌月の事業等について、毎月1回の開催

(4/18 5/28 6/26 7/26 8/29 9/26 10/23 11/26 12/24 1/28 2/26 3/24)

(4) 関係機関団体との連絡調整

関係福祉団体の運営協力と活動支援を行い、各団体との連携を図った。

- ① 酒々井町社会福祉施設協議会の事務局として庶務、会計業務を行った。

- ・酒々井町社会福祉施設協議会総会(5月29日)

- ② 民生委員児童委員関連業務

ア 毎月の定例会に出席し、情報交換・連絡調整を行った。

イ 民生委員児童委員と協力し、在宅福祉サービス等の充実強化を図った。

- ③ 印旛香取地区中途失聴者・難聴者のための手話学習会と手話サロンへの助成

助成額 10,000円

対 象 印旛地区中途失聴者・難聴者

(5) 職員研修の実施・事務局機能の強化

①職員研修（外部研修）

ア 生活困窮者支援調整会議

4/9 5/14 6/11 7/9 8/8 9/10 10/8 11/12 2/12 3/10

イ 共同募金会事業関係

- ・事務局長会議 7/16
- ・事務担当者会議 4/26 8/20
- ・事務担当者勉強会 12/13

ウ 日常生活自立支援事業関係

- ・新任専門員研修会 4/24
- ・現任専門員研修会 7/10
- ・事業連絡会議 9/3
- ・生活支援員養成研修会 10/24
- ・生活支援員・担当者等研修会 12/11

エ 生活福祉資金関係

- ・貸付新任担当者・相談員研修会 6/18

オ 日本赤十字社事業関係

- ・地区・分区新任事務委員研修会 4/19
- ・印旛地区赤十字連絡協議会 6/28
- ・地区・分区事務委員連絡会議 2/19

カ ボランティア関係

- ・ボランティアリーダー・マネジメント研修 8/3
- ・ボランティアセンター・市民活動支援センター合同研修会 9/9、2/12

キ 人権教育セミナー 5/31 1/15

ク 障害者福祉関係

- ・県身体障害者福祉会指導者地区研修会・福祉講座 7/9
- ・日身連関東甲信越静岡ブロック身体障害者相談員研修会 9/3

ケ 会長・事務局長関係

- ・市町村社会福祉協議会事務局長会・千葉社協連絡協議会合同研修 4/15、6/10、7/4
- ・市町村福祉担当課長・社協事務局長合同会議 5/23
- ・社協会長・事務局長合同研修会 7/17
- ・印旛ブロック市町村社会福祉協議会相談事業運営研究協議会 7/23
- ・市町村事務局長研修会 9/4、11/5
- ・県社協事務局長会災害支援活動意見交換会 1/17
- ・印旛ブロック市町村社協会長・事務局長会議 2/18

コ その他研修

- ・成田印旛地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 5/24
- ・令和元年度情報発信力強化セミナー（広報紙編） 7/22
- ・芝山町総合相談体制視察 8/23
- ・成年後見制度利用促進セミナー 8/28
- ・協働のまちづくり研修会 9/19
- ・ゆたかなセカンドライフ講座 10/17
- ・ゲートキーパー養成講座 12/19
- ・成年後見制度利用促進に係る事務打ち合わせ会議 2/6
- ・千葉県社協職員連絡協議会一般研修・交流事業 2/11
- ・中核生活支援センター連絡調整会議 2/18

② 事務局会議の開催

職員間の意思の疎通と共通理解の促進及び意見交換を目的に12回行った。

(4/8 5/13 6/3 7/8 8/6 9/2 10/8 11/5 12/5 1/14 2/3 3/2)

2. 自主財源の確保

(1) 会費

会員が納入する会費は社協活動の貴重な自主財源であるため、社協の説明並びに会費の使われ方のPRに努めた。

① 会員数および会費収入金額

会員区分	令和元年度	30年度	29年度
一般会費	3,040世帯	2,875世帯	3,111世帯
	1,520,250円	1,437,542円	1,555,750円
特別会費	326件	316件	331件
	881,000円	891,000円	883,000円
井戸っこ会費	125口		
	62,500円		
合計	3,491世帯・件・口	3,191世帯・件	3,442世帯・件
	2,463,750円	2,328,542円	2,438,750円

② 自治会・自治会長への説明

行政連絡員会議に出席し説明した。(4月13日)

(2) チャリティー事業

事業名	令和元年度	30年度	29年度
チャリティーバザー	206,983円	325,691円	405,457円

(3) 共同募金運動

募金名	令和元年度	30年度	29年度
赤い羽根共同募金	1,388,145円	1,423,707円	1,472,632円
歳末たすけあい募金	750,057円	768,904円	719,437円

(4) 「ふくしの箱」・寄附金の状況

種 別	令和元年度	30年度	29年度
ふくしの箱	17か所	17か所	19か所
	27,648円	33,454円	34,149円
一般寄附金	57件	47件	42件
	1,281,051円	1,156,322円	1,464,504円
社会福祉振興基金積立金寄附金			

(5) 社協しすい有料広告 15件/4社 75,000円

(6) 自動販売機(9台)設置収益 417,376円

3. 広報事業

(1) 社協広報紙「社協しすい」を4、7、10、1月の各1日に発行した。

発行部数 6,000部

新聞折込み数 5,750部

(2) ホームページ・SNSでの情報提供

facebook、ホームページ等の内容の充実を図り、幅広い年齢層への情報提供を行った。また、新たに関連規約や運用ポリシーを作成した上で、Twitterの運用開始をし、より効果的に幅広い年齢層への情報提供ができるよう整備を行った。

4. ボランティア活動の推進と育成

(1) ボランティア活動の推進

酒々井町ボランティア協議会に登録されているボランティアは、8グループ175名、個人36名(内 災害ボランティア4名)の計211名で福祉ニーズに応じ、それぞれの活動を行った。

①給食サービス「菜のはな会」

調理に携わるボランティア42名(栄養士1名を含む)は3班に編成されており、配食ボランティアとして活動している会員は9名である。

②朗読奉仕「虹」

会員13名で、目の不自由な方等に社会福祉協議会広報紙「社協しすい」、町広報紙「ニューしすい」等をCDに録音し、配布した。

③手話を学ぶ会「仲間」

会員29名で聴覚障害者の方との交流を深めるとともに、手話技術の向上と普及に努めた。

④明るい社会づくり推進協議会酒々井支部

使用済切手の整理、また地域の美化運動としてゴミ収集活動、小中学生を対象としたポスター作品展を実施した。

⑤更生保護女性会

会員6名で女性として母親の立場から、犯罪予防と非行に陥った青少年の更生活動、施設訪問を行った。

⑥手話ダンス・しすい

会員12名で手話ダンスを通じ、児童との交流や、高齢者・障害者施設への訪問を行った。

⑦傾聴ボランティア「かざぐるま」

会員14名で特別養護老人ホーム「エコトピア酒々井」を訪問しての活動を7回実施した。また、毎月第1金曜日のふれあいサロン「かざぐるま(11回)」と出張サロン(2回)の実施に協力した。

⑧住みよい酒々井をつくる防災の会

千葉県災害コーディネーター養成講座修了者及び防災士資格者の会員15名が、社会福祉協議会が主催する防災講座での指導や、要援護者避難訓練のアドバイザーとして活動した。

(2) ボランティア協議会活動の推進

- ①運営委員会の開催 10回
- ②広報委員会の開催 2回
- ③事業検討委員会の開催 2回
- ④「千葉県ボランティアのつどい」への参加助成 1回
(1月26～27日開催、2名参加)

(3) ボランティア入門・専門養成講座の開催

講座名	開催日時	場所	参加者数
普通救命講習	8月29日(木) 午前10時～	中央公民館講堂	20名
手話初級講座	11月28日(木) 29日(金) 午後1時30分～	中央公民館視聴覚室	36名 (のべ)
ノートテイク講座	1月30日(金) 午前10時～	中央公民館研修室	18名

※防災講座(3月14日(土))は、開催にあたりホームページやSNS等を活用し、幅広い周知に努めたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

5. ワンコインサービス事業

高齢者や障害者等のいる世帯で、日常生活の「ちょっとした困りごと」を、地域の登録ボランティアが代わりに行う有償のボランティアサービスを行った。

H31.4～R2.3

ボランティア登録者数	利用回数	サービス内容	回数
38名 (内、活動者6名)	301回	ごみ出し	301回

6. ふれあいサロン事業

傾聴ボランティア「かざぐるま」の協力により、誰もが気軽に集まれる場を開設し、お茶を飲みながら楽しく交流できる場を提供した。また、他市町村の傾聴ボランティアとの交流会を実施し、情報共有やボランティア間の親睦を図るとともに、傾聴技術の向上に努めた。

(1) ふれあいサロン「かざぐるま」の開催（毎月第1金曜日）

開催回数 11回 利用者数 112名

（※3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

(2) 出張サロンの開催

開催場所	開催日	利用者数
馬橋青年館	10月18日	16名
隣保館	2月25日	6名

7. 在宅福祉推進事業

(1) 生活援助用具の貸出し

車いす	電動ベッド	シルバーカー	松葉杖	四点杖	杖	シャワーチェア	歩行器	合計
45件	3件	3件	2件	1件	1件	1件	1件	57件

(2) 生活援助用具購入助成

生活に必要な補助用具の購入に対し、1世帯につき年1回の助成（限度額5万円補助率2/3）を行った。

助成件数	助成内容	助成金額
6件	車椅子用クッション	1件
	スロープ	1件
	吸引器	2件
	杖（特殊）	1件
	シャワーベンチ	1件
		123,000円

(3) 給食サービス

ボランティア団体「菜のはな会」により、75歳以上の一人暮らし高齢者に対し、毎月第1、3、4木曜日（4/1～2/27）に手作りの昼食を配布した。（3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

	令和元年度	30年度	29年度	
	給食サービス	給食サービス	ヤクルト 4月～9月	給食 9月～3月
対象者	119名	137名	66名	126名
配食回数	31回	31回	42回	17回
配食数	2,723食	3,115食	5,697名分	1,741食

(4) 朗読サービス

ボランティア団体朗読奉仕グループ「虹」により、目の不自由な方等に社協の広報紙、町広報紙等をCDに録音し、配布した。

対象者 3名

録音回数 20回（社協しすい 4回、広報ニューしすい 12回、議会だより 4回）

8. 高齢者福祉事業

高齢者が健康で豊かな生きがいのある生活を送れるよう支援に努めた。

(1) 水仙クラブ連合会事務局の運営

①町水仙クラブ連合会（20クラブ・会員数344名）事業の開催

主な事業：ハイキング、パークゴルフ大会、囲碁将棋大会、作品展の実施
総会、役員会の開催

②印旛地区高齢者クラブ連合会事業への参加

③なのはなシニア千葉（千葉県老人クラブ連合会）事業への参加

(2) 老人福祉大会の開催

9月16日の敬老の日に町との共催により、午前2部、午後1部の3部制で開催した。

第1部 195名 第2部 190名 第3部 192名

合計577名参加

①88歳長寿者顕彰（記念品贈呈） 76名

②老人クラブ代表による演芸会 1クラブ・10名出場

(3) ゲートボール協会事務局の運営

9. 児童福祉事業

町子ども虐待防止対策協議会との連絡調整や実務者研修（3月16日開催）に参加し、関係機関との連携を図った。

10. 障害者（児）福祉事業

障害者（児）の福祉の増進と障害者（児）に対する正しい理解の普及に努めた。

(1) 町心身障害者福祉会事務局の運営

①町心身障害者福祉会事業の開催 主な事業：総会の開催

②県・印旛地区身障福祉会事業への参加

(2) 「手をつなぐ親の会」の活動支援

(3) 「ひなげしの会」の開催（7/27）

町内の障害者どうしの交流を深めるための交流会を開催した。（32名参加）

(4) 「町心身障害者福祉会」・「手をつなぐ親の会」合同親睦旅行の実施（12/7）

（埼玉県さいたま市 鉄道博物館 他）

1 1. 福祉教育の推進

夏休みにボランティアスクールを開催し、児童、生徒が福祉に対する関心及び正しい理解を深めてもらうための支援を行った。

①夏休み親子ボランティア講座

開催日	場所	参加者数	内容
7月26日(金)	中央公民館 調理室	小学生10名 保護者8名	・親子でつくってみよう!体にやさしい料理教室
8月6日(火)	成田空港 (成田市)	小学生15名 保護者11名	・空港の施設を見学しながら、空港で活躍するボランティアの話の聞き、ボランティアへの理解を深める。

②中高生向けボランティアスクール

開催日	場所	参加者数	内容
8月7日(水)	西部防災 センター (松戸市)	中学生7名 高校生1名 教諭1名	・地震体験や救命体験を行い、防災・減災の知識を学ぶ。

1 2. ひとり親家庭支援事業

白ゆり会と協力し、ひとり親家庭同士の交流を深めるための事業を行った。

- (1) 白ゆり会(町母子寡婦福祉会)活動への支援
- (2) クリスマス会の実施 (12月15日) 25名参加

1 3. 共同募金事業

広く社会福祉事業に対する住民の意識を高めるとともに、地域自治会の協力により募金を実施し、配分した。

(1) 赤い羽根共同募金運動の実施

10月から12月に自治会を経由し、1世帯500円を目安に募金の協力をお願いした。

(2) 歳末たすけあい募金運動の実施と配分

12月に自治会を経由し、1世帯200円を目安に募金の協力をお願いした。

[配分]

① 75歳以上一人暮らし世帯へのおせち料理の配布

172名 560,110円

② 施設、団体へ助成

4施設3団体 240,000円

③ 歳末給食サービス事業

3回(材料費等) 132,640円

④ 歳末相談事業

2回(弁護士、専門相談員等) 114,000円

14. 善意銀行貸付事業

他の援助を受けられない生活困窮者等のため、一時的なつなぎとして町社協独自の資金の貸し付けを行った。

	令和元年度	30年度	29年度
相談件数	15件	29件	23件
貸付件数	12件	28件	22件
貸付金額	423,000円	1,025,000円	823,000円

15. 心配ごと相談・法律相談事業

毎週木曜日を相談日とし、第2・4木曜日は、法律相談として弁護士を招き、第1・3・5木曜日は、心配ごと相談として専門相談員、民生委員により相談に応えた。

相談名	令和元年度	30年度	29年度
法律相談	23日	25日	21日
	81件	109件	70件
心配ごと相談	15日	16日	8日
	26件	24件	11件

16. 日本赤十字社酒々井町分区事業

赤十字思想の普及に努めるとともに、赤十字事業の基盤である活動資金募集活動を地域自治会並びに町赤十字奉仕団の協力により実施した。

(1) 活動資金募集運動（5～6月）実績額

募金名	令和元年度	30年度	29年度
一般協力者	1,288,400円	1,327,465円	1,338,450円
高額協力者	411,000円 個人187件・法人62件	431,000円 個人194件・法人66件	454,000円 個人201件・法人70件

(2) 赤十字奉仕団との連絡調整

- ①赤十字活動資金募集に係る打合せ会議の開催 4/26
- ②赤十字活動事業参加者募集等打合せ会議の開催 8/29
- ③社会福祉協議会特別会費募集に係る打合せ会議の開催 11/28

17. 町受託事業

介護支援ボランティア事業

65歳以上の方が施設等でのボランティア活動を通じて地域貢献することで、高齢者自身の介護予防の推進と、いきいきとした地域社会づくりを目的とした事業であり、管理機関としての業務を実施した。

(1) 介護支援ボランティアの登録並びにカードの交付及びボランティア保険の加入

登録者数	内訳
46名	男性：15名 女性：31名

(2) 介護支援ボランティア評価ポイントの管理

活動者数	延べ活動日数	累計ポイント
4名 男性： 2名 女性： 2名	182日	327ポイント

(3) 介護支援ボランティア制度説明会及び研修会の開催に協力

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（3月11日開催予定）

18. 県社会福祉協議会受託事業

(1) 生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金貸付事業

低所得世帯、障害者世帯等の経済的自立と更生意欲の助長促進を図り安定した生活が営まれることを目的とした貸付を行った。

相談件数	貸付件数	貸付金額	貸付資金名	
19件	4件	1,328,000円	緊急小口資金1件	100,000円
			転宅費1件	470,000円
			福祉費1件	58,000円
			教育支援資金1件	700,000円

(2) 日常生活自立支援事業

在宅で日常生活を送る上で、判断能力が十分でない高齢者や障害のある方の金銭管理、財産管理を行うとともに、生活支援員及び関係機関との連絡調整を行った。また、成年後見制度への相談、助言を行った。

相談件数 19件 ・ 新規契約者 11名 ・ 解約者 4名

利用者数	利用者内訳	支援員数 専門員数	支援回数	支援時間	支援内容
25名 (内生活保護 者数13名)	高齢者 14名 精神障害 3名 知的障害 3名 その他 5名	支援員 8名 (登録のみ5名)	45回	約65時間	・福祉サービス利用 援助 ・財産管理 ・財産保全
		専門員 3名	175回	約130時間	

・生活支援員内部研修の実施（3/19 1回） 内容：認知症サポーター養成講座

19. しすい健康ふくしフェスティバル

地域の皆様の健康や福祉に対する意識の高揚を図るとともに、子どもから高齢者の多世代交流を目的として、毎年開催している地域福祉フォーラムを拡大し、町と共催で「しすい健康ふくしフェスティバル」を開催した。

- ・日時 12月22日（日）午前9時30分から午後3時まで
- ・場所 酒々井町中央公民館

【開催内容】

1. 講堂

- ①開会式および人権ポスター表彰式

- ②ゲートキーパー研修会
- ③子どもたちとダンス「パプリカ」
- ④青年式

2. ロビー

- ①防災展示コーナー
- ②AED体験
- ③総合相談窓口
- ④スタンプラリー受付

3. 各部屋

- ①変身コーナー
- ②健康相談（体組成計の測定）
- ③オレンジカフェ
- ④ボッチャ体験
- ⑤高齢者疑似体験

4. 駐車場

- ①キッチンカー等による販売（ピザ、クレープ、うどん、もつ煮他）
- ②朝市組合による出店
- ③福祉事業所の販売
- ④白ゆり会の鉢植え、手作りカバンの販売
- ⑤社会福祉協議会によるバザー

20. 災害（防災）に関する事業

（1）義援金・救援金の受付、街頭募金の実施（日本赤十字社千葉県支部へ送金）

・令和元年台風第15号千葉県災害	13件	106,005円
（街頭募金含む）		
・令和元年台風第19号災害	2件	40,000円
・東日本大震災	3件	4,736円
・平成28年熊本地震	2件	3,822円
・平成30年7月豪雨災害	1件	2,500円
・平成30年北海道胆振東部地震災害	1件	2,500円

（2）防災用品の整備（無線機1台購入、保存水600入替）

（3）災害時要援護者支援ボランティア会（災援会）の運営

（4）災害ボランティアセンター運営支援

館山市	9/20	9/28	（ボランティア活動）	10/7	10/27	（延べ6名）
八街市	9/24		（2名）			

21. 酒々井町地域福祉推進委員会

平成30年3月に策定した第2期酒々井町地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進と評価をするため、25名の推進委員による委員会を3回開催した。

【推進委員会】

回数	開催日時	場所	出席者数	審議事項
第4回	6月27日(木) 午前9時30分～	役場 分庁舎 第2多目的室	22名	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状の交付 ・職員紹介 ・各部会でのグループワーク「計画の取り組み内容の検証」
第5回	9月26日(木) 午前10時～	役場 分庁舎 第2多目的室	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・台風15号発災時の対応について ・計画の中間評価結果について ・町の防災訓練について ・しすい健康ふくしフェスティバルについて
第6回	11月28日(木) 午後2時～	役場 中央庁舎 3F会議室	18名	<ul style="list-style-type: none"> ・しすい健康ふくしフェスティバルについて ・台風15号19号および10月25日大雨災害に関する町の状況について ・今後の推進委員会について
第7回	3月23日(月) 午後1時30分～	役場 分庁舎 第2多目的室	中止	新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い中止

2.2. その他

(1) 生活支援体制整備事業の協議体への参加（4回開催）

地域包括ケアシステムの推進に向け、町が設置する生活支援体制整備事業の協議体に参加し、地域福祉推進のための話し合いを行った。

(2) 生活困窮者自立支援事業との連携

毎月開催される支援調整会議に出席し情報共有を図るとともに、さかえ・しすいワークライフサポートセンターと連携して生活困窮者に対して資金の貸付や物品の提供、フードバンクによる食品の支援等を行った。

また、11月から生活困窮者の早期発見を目的に、さかえ・しすいワーク・ライフサポートセンターによる出張相談が、毎月第1・3火曜日に実施された。